

# 「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 10 日

仕事の内容	協力指導員（チームティーチャー）配置事業				
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名 岡田 博史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業 18	教育力向上推進事業	
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 主に小学校4年生及び進学による戸惑いが起こる中学校1年生					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） → 児童・生徒数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 児童・生徒の授業でのつまづきを防ぎ、基礎学力の定着を図り、基礎的な学力向上を図る。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） → 実態調査による「協力指導員（チームティーチャー）がいることによって、児童・生徒の授業でのつまづきを防ぎ、基礎学力の定着を図り、基礎的な学力を図ることができたか。」に「十分図ることができた」「どちらかといえば、できた」の数値（%）			
	③ そのために何をしましたか。 小学校及び中学校の教員資格を有する者の嘱託員（チームティーチャー）として委嘱し、各小・中学校の担任教員と協力して同じ教室で授業を行っている。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） → ㊦ 配置校数、㊧ 配置時間			

2 指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人			6,571		
	成果指標	②の数値	%			92.0		
	目 標	②の目標値						
			目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	人時間			㊦15 ㊧9,609		

3 経費	事業費		円			19,724,184	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円			14,184	
		特定財源	円			19,710,000	
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人			0.05	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円			411,650		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円		0	0	20,135,834	

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。 平成27年度から、市内の小・中学校児童・生徒の学力向上のため、担任教員と協力して同じ教室で授業を行う協力指導員（チームティーチャー）を配置した。	
	学力調査の結果が上向いている。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
-------------	--

仕 事 の 内 容	協力指導員（チームティーチャー）配置事業				
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名 岡田 博史

6 市民協働	(1) 市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
	(2) 平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。			
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性（「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。			
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成 果	成果を向上させる。		経 費	仕事の経費は維持する。